

倉吉市空き家活用事業

主任研究員 倉持 裕 彌

1. 事業背景

倉吉市の中心部にある白壁土蔵群を含む伝統的建造物群保存地区は、昔な の を の に の な る の地区は、に、る を、地区にある建物の なに の れる にを る、地区に、地、にな、地区、の のに れる のに、市、の、地 の に、を、のな、の、は、な、れ、の、れ、に、あ、れ、は、ある、の地区は、に、ある、を、な、に、る、に、な、な、の、る、れ、の、の、な、を、る、に、の、るの、ある 伝建地区を中心に、を、る、は、れ、の3、の、を、倉吉、に、に、心の、る、を、る、の、心、に、地区の、には、の伝統的な、の造、なる、の、の、を、る、を、は、れ、的に、を、る、を、に、心の、を、に、る、を、に、る、的な、を、る、地区には、建、の、を、る、地、な、地、な、を、る、に、る、心、は、な、に、を、る、には、あ、に、る、な、る、る、を、保、を、の、を、に、的な、を、れ、は、の、を、る、効、れ、主、な、を、にな、総研は連携、の、支援を、

2. 事業内容

的な は、倉吉市 の伝統的建造物群保存地区にある、を、ギセラ、る ある の交渉は、地、マネ、ジャ、森氏 に、続、の、許、下、の、は、「」¹の、にイ、ピレ、を受、る、れ、は、

¹アサダワタ 氏 提唱・ 踐、る、「の、を、な、れ、る、な、踐を、る」 <http://sumibiraki.blogspot.com>

家を一部オープンにし誰でも利用できる空間にすることである。こうすることで交流の場が生まれ、創造的な活動が期待される。そこが情報や交流の結節点となれば、維持管理の課題に新たな視点が開ける可能性がある。そこでなるののをるた、のれる家の一にし、のの点とし活用することになった。の、の家の一部と、のである。それけでなので、一ーがし、的なンでしれるをた。こうしたプ、題ののをるうでにである。

空き家のを開し、11にープオープンを、12にーとしオープンとなった。

3. 事業評価・効果

これまでのとこ、のにたでをきる。そこで、を3の期にけ、的にをしきた。ま、空き家をするに、のンをするのをしたことにるがあた。的にでの3にるし3にのあるの生し1れのし3である。

なが、これのし、期がにすることができなた。に、をるときにれたとし、のをのしにるンにたのしがあしたながある。そのにも、にをものきにるや、に空き家のや利活用の可をもうことができた。

開の、でをした家のとした。この一に、にたがにをし、一の活用可をることができた。また、のすが年物が空き家であったことに触れ気が消たがしるのをれるのうれしと意を述る。

、オープン2がし、500となる。また、物の造がとをけけるうにな、そこを開しるたに、家にをれのパンフットを取なもるので、数500名を超える。

そし、維持管理のしが、古あるの団が、この一を団にのある家の設・びこれまでた家等の遺族を中とした交流ペーとし活用することを検討する。これまででたもこの団とのある家を活用してきたと、脈と息づの伝統とネットワークが、空き家の活用とうで浮びがる可能性があること意外なである。

改修工事中の空き家

展示の様子

改修した空き家（手前）と伝統 の （ ）